

鳥取大学

▼ 熊本地震に係る支援活動の概要

1. DMAT、医療支援チームの派遣

・4月16日から4月29日まで、のべ13名を派遣した。

内容	派遣期間	人数	活動内容
DMAT 1次隊	4月16日～4月18日	6名	熊本赤十字病院を基地病院とし、熊本セントラル病院、熊本東病院等における転院搬送支援等を実施
DMAT 2次隊	4月18日～4月20日	6名	熊本赤十字病院を基地病院とし、阿蘇医療センターを拠点に活動、各避難所・救護所の巡回支援等を実施
JRAT	4月25日～4月29日	1名	JRAT活動本部支援

※その他、医療救護班が要請に備え準備・待機したが、事態収束に伴い要請無く派遣は見送られた。

<http://www.2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/news/19515.html>

2. 教職員・学生ボランティアの派遣

派遣先	派遣期間	業務	派遣人数
熊本県熊本市	5月1日～5月7日	避難所の運営支援等	学生 4名
熊本大学	7月11日～7月15日	災害復旧申請に向けた事務支援	技術系職員 1名

3. 支援物資の提供

・熊本大学へ提供可能な衛生材料、医薬品、非常食、飲料水等のリストについて、情報提供を行った。

※実際の物資提供要請は無かった。

4. 義援金募集

寄附先	金額	団体
日本赤十字社	259,036円	教職員、学生
日本赤十字社	426,108円	鳥取・熊本大学学生合同グループ
日本赤十字社	18,698円	学生
熊本大学附属学校園 (全附連を経由)	26,770円	附属幼稚園保護者・職員



5. 被災大学の学生・教職員支援、被災者への支援（住宅提供等）

・罹災証明を提出した学生2名に対し、奨学金（見舞金各5万円）を給付した。

・被災地域大学等の学生・教職員への図書館サービスの利用を可能にし、学生1名を中央図書館に登録した。

<http://www.lib.tottori-u.ac.jp/news/2016/20160425.html>

・被災地域大学等の学生・教職員への文献複写サービス無料提供を可能とし、医学図書館に2機関、11名、14件の依頼があった。

http://www.lib.tottori-u.ac.jp/news/2016/20160425_2 <http://www.lib.tottori-u.ac.jp/news/2016/20160615.html>

・乾燥地研究センターにおいて、被災地の学生3名の長期的な受入れを行い、研究の場を提供するとともに対応教員を中心とした教育・研究活動の全面的なサポートを実施した。

6. 研究活動

・工学部附属地域安全工学センター香川敬生教授、向坊恭介助教らは被災地の現地支援及び調査を行い、平成28年6月23日に開催した平成28年熊本地震の調査報告会において報告した。

<http://www.tottori-u.ac.jp/item/14265.htm>

7. その他

・志願者への経済的支援

（熊本地震に限らず）被災及び台風等により被災した本学志願者の経済的支援と受験機会確保のため、平成29年度入学者選抜試験において、入学検定料免除の特別措置を講じている。

<http://www.adm.zim.tottori-u.ac.jp/news/29kenteiryomenjo.htm>

・メッセージ（言葉・絵）の募集

園児・保護者にメッセージを募集し、附属幼稚園で取りまとめた上で全附連事務局に届けた。